

みえ

Kensei dayori MIE

平成28年(2016)

11

No.388

広報紙 平成28年11月6日発行
(毎月第一日曜日発行)

データ放送 毎週木曜日更新

「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

知事が行く!
突撃取材!

Part2

～誇り高き情熱とこだわり～

松阪牛に夢を懸ける若者

裏表紙をご覧ください。



《伊勢志摩国立公園の概要》



指定：昭和21年11月20日
面積：55,544ヘクタール（陸域）

伊勢志摩国立公園指定70周年
伊勢志摩サミットの舞台となった伊勢志摩国立公園は、11月20日、指定70周年を迎えます。指定区域の96%以上が民有地という全国でも類を見ない公園で、自然と人との共生の姿を体感できる場所です。今号では、70周年記念事業をはじめ、後世に伝えていきたい伊勢志摩の魅力について紹介します。

人と海、

森が織りなす 奇跡のハーモニー

神

自然の景観と神が結びつく場所

伊勢えびや牡蠣など豊かな海の幸

神宮林や混交林などの貴重な自然

大自然の恵みを日々の生活に生かしてきた人びと

大王埼灯台（志摩市）

特集

2

～違いを認めあい、ともに生きる～

人権が尊重される三重をつくるために

人権は、誰もが自分らしく幸せに生きるために、生まれながらにして持っている基本的な権利です。県は、差別のない、人権が尊重される社会の実現に向けて、「三重県人権施策基本方針」に基づき、さまざまな取り組みを進めてきました。

昨年12月、人権をめぐる社会状況の変化に対応するため、基本方針の改定を行いました。この改定では、子ども、高齢者、女性などの人権問題への対応を強化するとともに、「災害と人権」、「貧困等による人権問題」などの課題にも対応していくこととしています。違いを認めあい、ともに生きる社会の実現に向けて、県民の皆さんをはじめ、企業、団体、NPO、行政が一体となって取り組んでいきましょう。

基本理念

○公平な機会が保障され、自立した生活が確保される社会の実現

○さまざまな文化や多様性を認めあい、個人が尊重される共生社会の実現

県の人権施策

人権が尊重されるまちづくり
県民、企業、団体、NPO、行政が協働し、ユニバーサルデザインのまちづくり等を進めます。

人権啓発の推進
私たち一人ひとりが人権意識を高め、行動していくことをめざし、啓発活動を行います。

人権教育の推進
学校、企業、団体などにおける人権教育を推進します。

相談体制の充実
人権侵害に関する相談窓口の強化や支援体制の充実等を行います。

さまざまな人権侵害への対応
さまざまな人権侵害に対応する取り組みが行き届く社会をめざします。

さまざまな人権課題

同和問題

子ども

女性

障がい者

高齢者

外国人

患者等
(患者の権利、HIV感染者・エイズ患者、ハンセン病患者、難病患者 など)

犯罪被害者等

インターネット
による人権侵害

その他さまざまな人権課題
(アイヌの人びと、刑を終えた人・保護観察中の人等、災害と人権、性的マイノリティの人びと、貧困等に係る人権課題、ホームレス、北朝鮮当局による拉致問題等 など)

問い合わせ先／環境生活部 人権課

☎ 059・224・2278 FAX 059・224・3069

✉ jinken@pref.mie.jp

三重県人権施策

検索

11月11日から12月10日までは「差別をなくす強調月間」です

各地でさまざまな人権啓発イベントや街頭啓発が実施されます。ぜひお近くのイベントにご参加ください。

県人権センターで実施するイベント

- 人権に関する児童・生徒ポスター優秀作品展
- 人権フォトコンテスト入賞作品展
- 人権パネル展
- 人権センター開設20周年記念事業

日時：11月20日(日) 13時～15時
内容：講演会「ダウン症の娘と共に生きて」
金澤 泰子さん(書家/金澤翔子さんの母)
席上揮毫 会場にて書の実演を行います。
金澤 翔子さん(書家)

※詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問い合わせ先／県人権センター
津市一身田大古曾693-1
☎ 059・233・5501
FAX 059・233・5511
✉ jinkenc@pref.mie.jp

三重 人権 検索

人権相談専用電話のご案内 ☎ 059・233・5500

この悩んでどこに相談したらいいのかな? 悩んでいる方、お電話ください。

◇相談員による面接相談、電話相談 月～金曜日 9時～17時 祝日は除く

◇弁護士による法律相談(予約制) 第3水曜日 13時～16時

特集

3

農業と福祉の連携が生む
新たな可能性

県では、障がいのある人たちが農業の新たな担い手として活躍できるよう、農業への福祉事業所の参入や障がい者の就労など、農業と福祉の連携(農福連携)を進めています。

そのような中、福祉事業所が地域農業の中心となっている事例や、障がい者が農業の担い手として活躍することで地域のコミュニティが活性化したという事例も生まれています。障がい者の皆さんが、農業で自信と誇りを持って働いていけるよう取り組んでいきますので、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

これまでの主な取り組み

①農業と福祉をつなぐ人材の育成
農業大学校での農福連携カリキュラムの開設

②福祉事業所での農業技術習得研修の実施

③特別支援学校での農業普及指導員による農業実習の実施

④障がい者が取り組める農作業の検証

これから展開

①農業分野でのさらなる就労拡大に向けて
農業ジョブトレナーの育成・認証・派遣制度の整備

②障がい者の就労体験の実施

③福祉事業者による農作業請負(施設外就労)の推進

農福連携マルシェのご案内

日程：11月30日(水)
10時30分～15時30分

場所：三重県総合文化センター 祝祭広場
(津市一身田上津部田1234)

農福連携のさらなる発展をめざして実施する「農福連携全国サミットin みえ」で、障がい者の皆さんが丹精込めてつくった農産物、農産加工品を販売する「農福連携マルシェ」を開催します。地元でも評判の商品が数多く出展されます。ぜひお越しください。

※詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問い合わせ先／農林水産部 担い手支援課

☎ 059・224・2354 FAX 059・223・1120

✉ ninaite@pref.mie.jp

三重の農福連携

検索

農業分野で就労する障がい者

農業で活躍する障がい者が着実に増えています!

196人 286人 449人 499人 524人

平成24 平成25 平成26 平成27 平成28

特集

1

かけがえのない伊勢志摩を 後世に伝えていくために

伊勢志摩国立公園では、美しい風景とともに、伊勢神宮、海女漁、真珠養殖など、豊かな自然の中で息づく人びとの生活や歴史、文化、風習に触れることができます。

県では、伊勢志摩国立公園指定70周年を迎えるにあたり、伊勢志摩の魅力を多くの皆さんが体感し、その大切さを再認識していただけるよう、地元市町や関係団体等と連携し、エコツーリズムなどの取り組みを行っています。このかけがえのない財産とともに未来に残していきたいと思います。

※エコツーリズム：旅先で自然や歴史文化を体験しながらその保全などについて学ぶ観光のこと

世界水準のナショナルパークへ

今年7月、世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化を図るモデル地域の一つに伊勢志摩国立公園が選ばれました。阿寒国立公園(北海道)、阿蘇くじゅう国立公園(熊本県・大分県)などとともに、外国人観光客の誘致等、さまざまな取り組みを行っています。

伊勢志摩国立公園には、人と自然が織りなす物語があります

神宮林は、恵み豊かな伊勢志摩に惹かれ、この地に鎮まわたと日本書紀に記されています。また、倭姫命が見とれたという二見浦など、自然と神が結びついています。

伊勢志摩は、日本で一番、海女の多い地域です。数千年の長い歴史がある海女漁は、人が自然と共生し、その恵みを継続的に享受していくための大切な技術・知識を今に伝えています。

貴重な自然が残る内陸部には、神宮林の神宮スギや、広葉樹と針葉樹の混交林、国の天然記念物である「暖地性シダ群落」など豊かな森林があります。

伊勢志摩国立公園指定70周年記念事業
記念式典&全国エコツーリズム大会
in 伊勢志摩

日時 11月20日(日)～22日(火)

場所 志摩市阿児アリーナ、他

《11月20日(日)》

- 記念式典
自然公園の保護に努められた方の表彰、他
- 基調講演
「世界に向けた国立公園の目指す姿～明日の日本を支える観光ビジョンを踏まえて～」
- パネルディスカッション
「世界が訪れたくなる伊勢志摩国立公園」※会場では、物産展や真珠の取り出し体験なども楽しめます。

《11月21日(月)》

- 伊勢志摩満喫ツアー(エクスカーション)
伊勢志摩の魅力を体感できるさまざまなツアー(要申込)をします。

《11月22日(火)》

- 評価会・分科会
前日のエクスカーションを評価し、これからの伊勢志摩のエコツーリズムについて考えます。
- ※詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問い合わせ先

伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会

☎ 0599・265・2658

申込期限・方法 11月11日(金) 左記ホームページよりお申し込みください

✉ nidor@pref.mie.jp

問い合わせ先

農林水産部 みどり共生推進課

☎ 059・224・2627

FAX 059・224・2070

伊勢志摩国立公園指定70周年

検索



知事が行く！
突撃取材！Part2
～三重のひと～

第8回

～誇り高き情熱とこだわり～

松阪牛に夢を懸ける若者

一頭一頭と向き合うこだわりの肥育法

松阪牛発祥の地、松阪市飯南町深野。この地で松阪牛の肥育に励む高尾洋輔さんを訪ねました。高尾さんは、お父さんが体調を崩された4年前、建築業の仕事を辞め、家業を継いだそうです。最初に案内していただいたのは、子牛を肥育する第1牛舎。「子牛には牧草やワラをいっぱい食べさせることが大事。胃袋を大きくしてあげることで、成牛になってもしっかりエサを食べてくれる」と話す高尾さん。ひょうたん型のお腹が理想だそうです。エサと水にこだわり、エサは1年半かけてオリジナルブレンドを考案。地元の農家や獣医さんを訪ね歩くなど、肥育法をとて勉強されています。



続いて成牛がいる第2牛舎へ。こちらでは、ストレスを与えないよう仕切りを設け、一頭ずつ大切に育てています。最近は2～3頭を一緒に飼う農家も増えたそうですが、高尾さんは、



伝統的なこの肥育法にこだわっています。「ストレスがある牛は気性が荒くなり、脂が硬く、ガチガチの肉に

なってしまう。僕たちは命をもらって生きているので、大事に育て、その牛の能力を最大限出してあげたい」と話すその言葉に、高尾さんの松阪牛に懸ける情熱を感じました。

「一番おいしい」と言われたい

高尾さんは、自分が育てた牛をお客さんが食べ、「おいしい」と言ってもらえることが一番うれしいと言います。「伊勢志摩サミットで各国首脳に松阪牛を褒めていただき、本当にありがたい。松阪牛の中でも『高尾の牛が一番』と言ってもらえるよう頑張っていく」と話してくれました。もっと多くの人に食べてもらえるよう、新しい牛舎を建て、頭数を倍にしたいそうです。



高尾さんのような若い世代が、松阪牛肥育の担い手として活躍していることに頼もしさを感じるとともに、県としてもしっかり応援していきたいと感じた取材でした。

取材／知事 鈴木英敏



高尾畜産代表
たか しょうすけ
高尾 洋輔さん

三重を舞台に描く夢



現在、約80頭の松阪牛を肥育



成牛は700kgにもなるそうです

「松阪牛まつり」が開催されます

日時：11月27日（日）
場所：松阪農業公園ベルファーム
内容：松阪牛の魅力に触れられる祭りで、焼き肉コーナーなどが楽しめます。特産松阪牛の女王を決める「松阪肉牛共進会」も開催されます。高尾さんは再来年の出場をめざしています。



※特産松阪牛・松阪牛の中でも兵庫県の産地を松阪牛生産地域で900日以上肥育したもの

- 「知事が行く！突撃取材！」のインタビュー詳細版はホームページで。[県政だより みえ] Q検索
- 取材の様子は三重テレビ「県政チャンネル ～輝け！三重人～」で11月11日（金）22時15分から放送します。
- 三重テレビで放映した取材の様子（動画）を、11月12日（土）よりYouTubeでも配信。

問い合わせ先

戦略企画部 広報広報課 ☎059・224・2788 ☎059・224・2032 ✉koho@pref.mie.jp

イベント

伊勢志摩サミットを契機とした 県民活躍シンポジウム

サミットの成果を共有し、一人ひとりが今後さらに活躍していただくためのキックオフイベントです。首脳等の芳名帳などサミット関連の展示も行います！

日時 11月27日（日）14時～16時15分（予定）

場所 県庁 講堂（津市広明町13）

内容 基調講演、パネルディスカッション、他
※応募方法等詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。 [サミット終了後の取り組み] Q検索

問い合わせ先 雇用経済部 サミット総務課
☎059・224・2646

お知らせ

学生奨学金返還支援事業助成金の募集

【締切：平成29年1月10日（火）】

若者の県内定着を促進するため、県内の条件不利地域への居住等を条件に、大学生等の奨学金返還額の一部を助成します。（対象20人）

主な応募資格

- ・大学院、大学、短大、高専、専門学校の最終学年の1年前の学年以上の在学学生で、かつ、就職先が決まっていな方
 - ・卒業後、県内の条件不利地域への定住を希望する方
 - ・日本学生支援機構第一種奨学金等を借り入れ、返還予定の方、他
- ※詳細は、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問い合わせ先 戦略企画部 戦略企画総務課 ☎059・224・2009

地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業 Q検索

その他のイベント・お知らせはデータ放送で！

三重県データ放送

「県政だより みえ 暮らしの便利帳」は

三重テレビ第1チャンネル（7ch）と「d」ボタンで！

操作は簡単
2ステップ！

1 三重テレビ（地デジ7ch）視聴中に「d」ボタンを押す

2 リモコンの▲▼ボタンで「暮らしの便利帳」を選び、決定ボタンを押す



ゲームでポイントをためて応募すると、三重の美味しいものが抽選で当たるプレゼント企画実施中！

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。

[県政だより みえ] Q検索

【県のテレビ番組】～三重テレビ（地デジ7ch）～

◆「県政チャンネル～輝け！三重人～」金曜日22時15分～（第5週は放送なし）
県の取り組みを紹介する「現場に聞こう」や「知事突撃取材」などを放送。YouTubeでも配信します。 [三重県インターネット放送局] Q検索

【県のラジオ番組】

FM三重 ◆三重県からのお知らせ 月～金 7時43分～ 金 18時25分～
◆こんには三重県です 火 18時22分～
東海ラジオ ◆こんには三重県です 木 15時00分～
◆三重県の窓 金 6時36分～
CBCラジオ ◆三重県の窓 土 10時51分～

編集・発行/三重県広報広報課 「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。

〒514-8570（住所不要） 三重県広報広報課

☎059・224・2788 ☎059・224・2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内（各課ご案内）☎059・224・3070

三重県の人口・世帯数 人口/1,807,843人（男性：879,806人 女性：928,037人） 世帯数/723,372世帯 平成28年9月1日現在

平成28年度厚生労働省三重労働局委託事業 シニアワークプログラム

55歳以上の受講生大募集！

受講・テキスト代無料

短期間で学べる！

55歳以上の
ハローワークでの
求職登録者対象

- 総務労務事務
- 就農者
- 調理スタッフ
- 初任者研修
- 玉掛け技能 等



ランゲート株式会社
シニアワークプログラム事務局
☎050-5847-6854
（受付時間：平日9：00～18：00）

お申し込みご希望の方は管轄のハローワークで申込書付きパンフレットを受け取り、記入後郵送して下さい。また、専用ホームページからでもお申し込み可能です。
http://sp.jobwork.jp

昭和57年～昭和59年製の トヨタ石油ファンヒーターを探しています

上記期間に製造された製品には、現在、取り付けが義務化されている安全装置が装着されておりません。誤った使用方法により、事故が起こる可能性があるため、1986年（昭和61年）より自主交換を行っております。

対象機種

LCR-3・LCR-3-1
LS-3・LS-3-1・LS-6

LCR-3タイプ



LS系タイプ



型番表示部

ご連絡先

〒467-0855 名古屋瑞穂区桃園町5番17号

株式会社 トヨタ

フリーコール

0120-104-154

（お客様よりお知らせ頂きました個人情報、商品の交換目的以外には使用いたしません）

現在の石油ファンヒーターはPSCで定められた安全装置が全機種についております。

「県政だより みえ」は、新聞折り込みのほか、県および市町施設、スーパー、コンビニ、金融機関、郵便局などでも入手できます。詳しくはお問い合わせください。